



とよおか

第 54 号

平成23年 7月20日

議会だより

発行/豊丘村議会 編集/議会だより編集委員会 印刷/龍共印刷㈱



“健康万歳”

(だんQ君健康アカデミー)

6月定例会



6月定例会の内容	2～3
予算特別委員会の質疑から	4～5
議員の意志表示一覧表	6
委員会だより	7
一般質問	8～14
最近の議員活動から	15
私の一言・私がんばっています・編集後記	16



この議会だよりは、再生紙を使用しています



職員の自主的活動で行われている
“緑のカーテン事業”も2年目を迎えた

◎一般質問に傍聴者多数 ＝定住促進住宅助成制度を新設＝ ◎改選後、初の定例会

改選後、最初の定例会は六月一日から二十一日までの二十一日間の会期で行われた。

今定例会には、条例改正案四件、補正予算案四件、人事案件一件、報告二件、請願四件、その他一件が上程された。

又、国民健康保険特別会計補正予算には修正動議が提出された。

開会日に即決された議員報酬関連条例の改正案や人事案件等の三案件以外は各常任委員会や予算特別委員会に附託され、二十一日の本会議で議決された。

なお、国民健康保険条例改正案は、六月より税の徴収が始まるので、事務処理上の都合により開会日に委員会でも審議され、当日本会議を再開し、議決された。

十七日に行われた一般質問では、改選後の初議会というこ
とで、十四人の傍聴があり、議員の質問にも熱が入った。

国保税 九・六％引上げ

六月議会の最大の焦点である今年度の国民健康保険税を決定する条例改正については、総務産建委員会に附託されたが一年、昨年と同様に社会文教委員会と連合審査となった。

改正案は、構成割合（所得割・資産割・均等割・平等割）は、従来通りの比率とし、一人当りの税額を対前年九・六％、一世帯平均で八・六％の引き上げにしよとすものである。

委員会審査の中で出された意見では

○改正案では、二年連続で十％前後の値上げとなることは現在の被保険者の生活実態からみてさけるべき、据え置きにすべきであるとする意見と、

○医療費の増加により、保険からの給付費も増えつつある中で、基金も減少を続けているので、値上げは止むを得ない。……との両論がぶつかり合った。

又、基金枯渇後の対策として一般会計からの法定外繰入れの是非についても議論が聞かれた。

○国民健康保険制度は、社会保障の重要な役割を担っていること、又、被保険者の所得が他の医療保険（職域保険）より大幅に低いこと等から、繰入れは必要とする意見、一方

○国保の被保険者は村民の四分の一であるから、国保以外の四分の三の村民の了解を得ることが繰入れの前提だとする慎重な意見が出された。

委員会の採択では、賛成五、反対一で原案可決となり、本会議では討論（反対―唐沢啓六・前沢光昭、賛成―片桐秀人）の後採択され、賛成十一、反対二で理事者提出の条例改正案が可決された。

○国保特会補正予算修正動議は否決

なお、改正された条例に基づく税収を基礎とした国民健康保険特別会計の補正予算(第一号)も提出されたが、唐沢啓六、前沢光昭両議員から修正動議が出され、両案件とも十五日の予算特別委員会で審議された。

修正案は、国民健康保険税の税率を前年通りの据え置きとし、補正予算一号案との税収差額(一千百五十五万円)については、八百万円を基金からの取り崩し、残りの三百五十五万円を予備費から投入して収支のバランスをとるものである。

委員会では両案を同時に審議したが、条例審議と同様一般会計からの法定外繰入れについての議論があり、議員からの質疑に対し村長は「将来、基金が底

をついた時点では考えざるを得ない」と答弁した。

採決の結果、修正案は賛成二、反対十で否決、原案が賛成十、反対二で可決された。

本会議でも質疑、討論の後採決が行われ、賛成十一、反対二で原案が可決された。

一般会計補正予算の概要

現行予算に一億九百万円を追加、総額を三十二億六千八百万円余とするものである。

歳出の主なものは

○定住促進住宅助成金として、二千五百二十万円を計上。

内容は、これまでの五十歳以下の年齢制限を撤廃したこと。さらに、住宅用地の取得のみに助成したものを、建築費についても六十万円の助成をすることとしたものである。又、中山間地域活性化交付金の交付対象地区は二十万円の上乗せをする。

○地域産業活性化緊急助成金(住宅リフォーム助成事業)に、一千万円を追加。

これは、本年四月から新規事業として取り組んでいる住宅等の修繕費用助成の申請件数が予

想を上まわって、予算が不足する見通しとなったため追加計上したものである。

なお、六月末で申請件数百三十七件、助成金二千六十万円、事業費総額一億三千九百万円となり、事業効果は約七倍となっている。

○社会教育施設建設検討委員会を立ち上げ、報酬四十四万円余を計上。

福祉センターの耐震不足による新たな施設建設の方針を検討する委員会を今年度立ち上げるための委員報酬である。

村長の考え方としては、平成二十四年度に設計を、翌二十五年度に建設したいとしている。

固定席のホールは造らず、図書館の併設を考えている。財源は、国の社会資本整備総合交付金で四十%の補助を見込み、残りは公共施設整備基金を活用したいとしている。

固定席のホールは造らず、図書館の併設を考えている。財源は、国の社会資本整備総合交付金で四十%の補助を見込み、残りは公共施設整備基金を活用したいとしている。



要望の多いリフォーム助成事業

議員報酬五%引き下げの条例

当該年度の議員報酬は、通常は年度の始まる直前の三月定例会で決定してきたが、今年度は議会の改選という事情から新しい議会に委ねることとなり、今回の対応となった。

今年度の議員報酬は、特別職報酬等審議会の答申で村長等と同様五%引き下げということであったので、これを基本にして議論がされた。意見の中では……

○五%引き下げの根拠はあるのか……納得できる根拠がなければ条例通りが良いのでは……

○引き下げ中(五%)の具体的根拠は無くとも、経済状況や村内の経済状況の厳しさは依然として続いているので、答申通り削減を続けるべきでは……との両論が出されたが、最終的には削減をする方向で一致した。

又、本則での改正か、附則で期限をつけて削減すべきかの議論もされたが、附則(平成二十四年三月末)で五%引き下げをすることで全員一致し、本会議で議員発議されたものである。

議員報酬額

職名	報酬月額	条例報酬額
議長	243,000円	255,000円
副議長	181,000円	190,000円
常任委員長	155,000円	163,000円
議会運営委員長	150,000円	157,000円
議員	146,000円	153,000円

建設検討委員会を予算化

県産材住宅には 上乘せを

Ⅱ 定住促進住宅助成金制度新設Ⅱ

片桐(秀)議員 この制度は、一定の評価はできる。山間地には二十万円増額されているが、この根拠は何か。

総務課長 特別な根拠はないがこのくらいが妥当ではと考えている。

片桐(秀)議員 二十万円では少ないので、さらに増額するよう要望する。

酒井議員 大柏はどちらに入るのか。

総務課長 所属する「区」で判断し、福島区であれば八十万円になる。

唐澤議員 ①新築住宅と中古住宅の助成額が同じだが、新築住宅には手厚くしたらどうか。

②県産材使用住宅は上乘すべきだ。③四年間の時限措置だが、期限延長は考えているか。

村長 ①その通りだ。だんだん考えていく。②そのことも大事だと思う。③今後の様子を見て考える。

建設場所や図書館 も検討を

Ⅱ 社教施設委員会設置Ⅱ

唐澤議員 今回の検討委員会を設置する基本的な考え方は。

村長 福祉センターの建替えとしたい。年次計画は、今年度は委員会による検討、二十四年度は設計、二十五年度に建設をしたい。コンセプトは、村民ホールは作らない、学習室や母親が気楽に集えるサロンのものが良い。建設場所や施設の中身について検討してもらおう。

大原議員 前回の検討委員会は予め建設場所を設定しなかったのがいけなかった。場所を明示しないと同じ結果になるのでは。

村長 現在、固まっていないのは場所。これは図書館をどうするかによる。ここを揉んでほしい。

唐澤議員 場所を含めて基本的なことはきちんと定めて検討委員会に諮るべきだ。財源はどうするか。

総務課長 国土交通省の社会資本総合整備交付金を考えたい。

補助率は四十〜六十%。

村長 庁内にプロジェクトチームを設置し考えたい。なお、財

源は公共施設整備基金の取崩しも考える。

川野議員 平成十八年に村づくり委員会が提言をしたが活かさ

れなく残念。新村長は是非この提言に目をとおしてほしい。



懸案の崩落防止工事予定地 (スポーツ館)

＝予算特別委員会の質疑から＝ 小規模特養・社会教育施設



遊具修理に100万円補正 (写真はりんごっこ公園の遊具)

軟弱地盤を 全体補強する。

＝スポーツ館西の土手＝

吉川議員 水防訓練に行ったが一般村民が少なかった。大災害はいつくるか分からない。しっかりと啓蒙すべきだ。
川野議員 公園費の修理費百万円の内訳は。

産建課長 パノラマ公園に五十万円、りんごっこ公園に五十万円を充てる。

前沢議員 スポーツ館西側の復旧工事費三千万円の内容は。教委事務局長 昨年度に法面工事をやったが、四月の豪雨で崩れてしまった。水が出るなど軟弱な土手なので、全体をしっかりと直したい。

個人毎のカード化に

＝国保の保険証＝

片桐(義)議員 国保の保険証が個人ごとのカード化になり便利になる。一般質問で要望したが実現して嬉しい。

前沢議員 材質が薄い紙で字も小さく読みづらいので改善を。

住民課長 期間が一年であり同じ材質となる。当面はこの材質でいきたい。

大原議員 カードのケースはつくのか。

住民課長 ケースは付ける。

国保税九・六%の上昇 基金取崩し精一杯努力

唐澤議員 国保税は介護分を含めると前年対比十四・一%の引き上げとなる。十九年度比較では、四十二%の大幅な引き上げ。飯田市では、一般会計から一億円の繰り入れをして引き上げ率を七%に抑えた。引き上げ幅を圧縮する考えは。

村長 事務局案より圧縮した。この辺りが精一杯。当村でもいづれ一般会計からの繰り入れが必要になるのではないかと。国保に未加入の四分の三の人から理

解が得られるよう今から相応の引き上げをしたい。

唐澤議員 今、四分の一といったが、ほとんどの人は定年等で被用者保険から国保に加入する。よって、法定外繰り入れの理解は得られる。

なぜ小規模特養か 身近な場所で優先入所

唐澤議員 介護施設研究委員会の基本的考え方は、第五期介護保険事業計画との関係は。

村長 小規模特養を作りたい。飯伊は、広域で入所調整をやっているが、そこでの折衝をしながら独自の特養を考えたい。今年度に基本的事項をまとめて、来年度に設計、二十五年度に建設したい。第五期計画は別の組織で検討するがこの施設建設は組み入れる。

片桐(秀)議員 小規模特養を作る理由はなにか。又、せっかく作っても広域で入所調整をされ、不利になることはないか。

村長 あぐり河野に九名が入所中。他の特養は満杯で空きがない。ただ、指摘どおりに広域で入所制限などされないようにしなければならぬ。

議員の意志表示一覧表

<平成23年第2回臨時会>

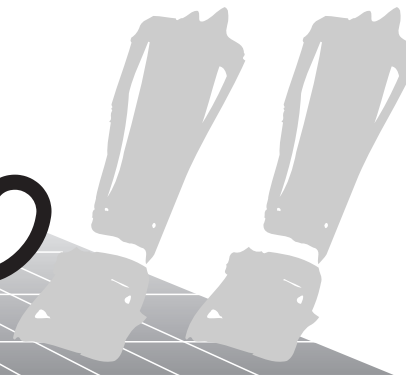
	件名	審議結果	酒井	吉川	松下	井原	大原	片桐	原	松村	片桐	川野	片桐	前沢	唐澤
			浩文	明博	亨	康明	千賀子	義憲	健治	正三	眞理子	孝子	秀人	光昭	啓六
同意	監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認	常勤特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について(専決処分)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について(専決処分)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度豊丘村一般会計補正予算第8号(専決処分)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度豊丘村国民健康保険特別会計補正予算第4号(専決処分)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度豊丘村後期高齢者医療特別会計補正予算第1号(専決処分)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度豊丘村介護保険特別会計補正予算第6号(専決処分)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度豊丘村簡易水道特別会計補正予算第6号(専決処分)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度豊丘村下水道事業特別会計補正予算第5号(専決処分)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度豊丘村一般会計補正予算第1号(専決処分)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
条例	常勤特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	○	○	○
	教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

<平成23年第2回定例会>

条例	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	村税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼
	豊丘村農林水産物処理加工施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意	豊丘村農林水産物処理加工施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	固定資産税評価委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算	平成23年度豊丘村一般会計補正予算第2号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成23年度豊丘村国民健康保険特別会計補正予算第1号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼
	平成23年度豊丘村国民健康保険特別会計補正予算第1号の修正動議	否決	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	○	○
	平成23年度豊丘村介護保険特別会計補正予算第1号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成23年度豊丘村下水道事業特別会計補正予算第1号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告	平成22年度豊丘村一般会計繰越明許費繰越計算書について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度豊丘村土地開発公社事業報告について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	30人規模学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	長野県独自の30人規模学級の中学校全学年への早期拡大と複式学級の解消、県独自に教職員配置増を求める意見書提出に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	浜岡原発の永久停止・廃炉、原発からの撤退、原発ゼロの期限を決めたプログラム策定を求める国への意見書提出を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	30人規模学級(35人基準)の早期実現、教職員定数増を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	長野県独自の30人規模学級(35人基準)の中学校全学年への早期拡大と複式学級の解消、県独自に教職員配置増を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	浜岡原発の永久停止・廃炉と、原発からの撤退及び原発ゼロの期限を決めたプログラム策定を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○・・・賛成 ▼・・・反対

しつもん



質 副村長人事はどのように考えているか 答 県職の課長クラスの人をお願いしている

川 野 孝 子

質問 村長に就任以来二ヶ月、未だに副村長人事がされていないがどのように考えているか。

村長 早い段階で県職の方を登用したいと考えていた。県へ出向き、知事、総務部長に依頼した。県として八月には豊丘へ着任出来るかと返事をいただいている。

質問 豊丘村の事を熟知している村民の中からなく県へ人選を任せる村長の意図は何か。

村長 いいと思っただ方は高齢であつたり職員体制についても、来年三月課長が四人同時退職になる中で県職の行政に精通した方に来ていた、だきたいと考えた。

火葬場建設の状況は

質問 公約の中に火葬場建設について前向きに取り組んでいきたいとしているが火葬場問題の北部五ヶ町村の現在の取り組み状況はどうなっているか。

副村長 今までの経過反省点も踏まえ五ヶ町村とも火葬場を出来るだけ早く建設していこうという合意はしている。

質問 火葬場建設の場所について村長の考えはあるか。

村長 火葬場の件について一日も早く出来ることが一番の目的と考える。場所については持つているが豊丘村でない可能性もある。早く理事者間の調整をやっていききたい。

質問 年々交代していく管理者についてどう考えるか。

村長 持ち回りがいいとは思わない。選定地決定の時はその首長がトップの方がいい。



八月まで空席の副村長

議会活動報告

一月～三月

◎一月

成人式

三日

総務産建委員会

五・六日

議会だより編集委員会

六日

議会だより編集委員会

七日

賀詞交歓会

九日

消防団出初式

十二日

議会だより編集委員会

十二日

例月監査・定期監査

十四日

郡議長会総会

十七日

全員協議会

十七日

議会だより編集委員会

◎二月

四日

広域連合議会運営委員会

十日

議会だより編集委員会

十六日

例会監査

十六日

県議長会役員会

十八日

リニア中央エクスプレス建設促進飯

二十一日

伊地区期成同盟会及び三遠南信自動車道建設促進期成同盟会総会並びに講演会(シルクホテル)

二十一日

天竜川架橋住民大会

二十三日

南小体育館竣工式

二十五日

北部事務組合議会

二十七日

全員協議会

二十八日

広域連合議会

二十九日

北部事務組合議会

三十日

県議長会総会

三十一日

総務産建委員会

四日

四者懇談会

◎三月

二日

議会あり方研究会

四日

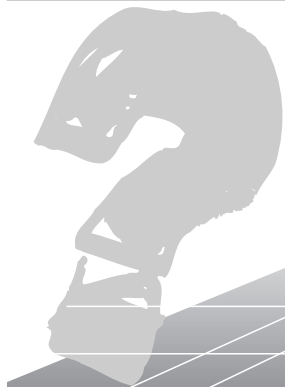
議会運営委員会

五日

第一回定例会 開会

六日

予算特別委員会



いっぱい

質 今なぜ特養建設か 答 本人・家族の負担軽減

片 桐 秀 人

質問 村長のマニフェストの中で高齢者施策について伺う。特養の入所判定は広域連合で行って来ているが、今なぜ特養を作ると考えるのか。過去の運営は評価できないか、問題があるか。

村長 この先高齢者は間違いなく増え続ける。村内には二十五人の待機者がいる。本人や家族の負担軽減をしたい。少しでも早く手当する必要がある。広域連合とのバランスは調整をはじめたところで整合をとりたい。

質問 特養の規模、建設費、補助金、建設場所、補助残など答弁できる範囲で伺いたい。

村長 地域密着型で二十九人、補助は一ベット当たり三二〇万円。補助残は村費で。運営は独自では出来ないのでサテライト型で。

要介護高齢者対策は

質問 「急速に増加する要介護高齢者対策は最重要課題」としているがどんな対策があるか。

村長 介護予防では生活習慣病の予防と重病化予防を重点に、はつらつのほかに、身近な地域で開催するミニデイサービスも検討して行きたい。要介護対策では生活上の安全安心、健康確保の地域包括ケアを重視



議員有志による小規模特養の視察（宮田村プラムの里）

したい。又、ホームヘルプサービス、配食サービスなど今年度策定する第五次介護保険計画の中で具体化したい。

山間地の人口増対策について

質問 人口増対策について山間地域の減少をどう食い止めるか。

村長 六月補正予算に定住促進のための住宅用地取得、新築助成金の制度をつくり四年間行う。山間地には二十万円加算する。

七日

全員協議会
例月監査
社会文教委員会

八日

総務産建委員会
議会だより編集委員会

九日

社会文教委員会
総務産建委員会

十日

総務産建委員会
予算特別委員会

十四日

一般質問
中学校卒業式

十五日

予算特別委員会
予算特別委員会

十七日

予算特別委員会
予算特別委員会

十八日

南北小学卒業式
予算特別委員会

二十二日

定例会 再開
議会運営委員会

二十五日

全員協議会
保育所卒園式

二十九日

第一回臨時会
戦没者追悼式

三十日

村長村議選説明会

【請願・陳情について】

●30人規模学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願

〈採 択〉

●義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願

〈採 択〉

●長野県独自の30人規模学級の中学校全学年への早期拡大と複式学級の解消、県独自に教職員配置増を求める意見書提出に関する請願

〈採 択〉

●浜岡原発の永久停止・廃炉、原発からの撤退、原発ゼロの期限を決めたプログラム策定を求める国への意見書提出を求める請願

〈採 択〉

質 最近の未満児保育の実態は

答 施設を改善し要望に応える

原 健 治

質問 近年増えてきている未満児保育だが、最近特に「未満児保育をお願いしたい」という要望が多くなってきたという。社会情勢下での子育て世代にはやむにやまれない選択とならざるを得ない事情は理解できる。最近の実態、要望に応えていくための課題となる事は何か。

保育所長 平成十年度より、中央保育所改修後、対象児を十一ヶ月以上とし保育にあたった。十五年度からは南保育所、二十一年度からは北保育所も実施するようになった。十七年度から二十年度には三十名を割っていたが、北保育所に新設してから三十名を越え、昨年度には未満児保育要望が急激に増え五十一名に達した。

豊丘村の子育て支援の施策の浸透もあり、最近では0歳児からの未満児保育の要望も増えている。今後村として受け入れていく上での課題としては当面、園児の発育に合わせたのクラス編成で対応を考えていく。今の施設では受け入れ体制に限度があり、改善対応を早急に検討しなければなら

らない。又、年度途中での入所となっていることも考え、年齢別保育室の確保・食事の刻み食対応・未満児用トイレの増設・遊び場の確保・保育士の増員・調理員の増員等、人的要件や物的要件を満たす為の財政的問題を解決し、子育て世代の要望に対応できる未満児保育体制を早期に取り組んで参りたい。



年々増える未満児保育

質 被災者支援システムの導入は

答 有事の際即応できるように準備を進める

片 桐 眞 理 子

質問 東日本大震災の教訓である想定外に対処するため、意識が高まっているこの時に防災対策について確認し、安心安全を強めていく事が大事であると思う。防災マップに記されている避難所でも、新たに土砂災害警戒区域に指定された施設や耐震基準を満たしていない施設もあるが、どう考えるか。また意識を高めるためどう取り組むのか。

総務課長 防災マップの元になつている地域防災計画の見直しに着手している。代替施設等が確保できるか地元と協議する中で一定の方向をまとめていく。

村長 三六災害から五十年がたったという年で伝承セミナーを行ったり、九月の防災週間には豊丘村が重点地域に選ばれたので、いつもとは違う訓練を行い村の防災意識を高めていく。

質問 小中学校での防災教育について心がけている事は。

教育長 今回の震災でも訓練をしつつ行っていた学校で亡くなった子供はいない。命を第一に考えて訓練、教育に力を入れている。

質問 地震等の災害がおきた場合、発



今様の多種類の非常用備蓄品

生後の手続に罹災証明書や被災証明書の発行が必要となる。今のままでは確認作業が手間どるため被災者支援システムを導入し、行政サービスが迅速に提供できるよう平時からの体制づくりが必要と思うが。

総務課長 有事の際に使う被災者支援システムについては、申請にあたって準備を進めている。万が一に即応できるように構築を図っていく。

質 村内の地デジ化について

答 STBが全戸貸与なので大丈夫

大 原 千 賀 子

質問 七月二十四日には全国地デジ化になるが、村内の普及率と、STBをつけた世帯はどの位か。豊丘村は三年、今のまま見られるのはなぜか。

総務課長 過日のアンケートの分析では九十三%が対応済み、STBは全戸貸与で、豊丘ではデジアナ変換するし、二〇一五年三月まで国の措置で対応している。

南相馬市の被災者の様子と今後の対応について

質問 南相馬市の市長が見えた時の様子。喜ばれた事と思うが。

村長 お見舞いに来るのが、遅かったお詫びと村の対応の感謝と、長く置かせて頂くお願いがあつた。

質問 三ヶ月たち被災者の健康状態やお風呂の湯を見ただけで津波を思い出し怖かったと聞いた。心のケアはどうか。義援金についてはどうか。食事の支度も今はボランティアの会でしているが、日赤の団体にも協力して頂くのは如何か。

住民課長 高齢者が多く、病



デジタル化で便利な12チャンネル

院通いもあり、ストレスもあるので、精神状態は見ている。

村内からの義援金は九百八万円で赤字と栄村に送った。憩の家にいる被災者に企業、団体からも四十万円余寄付があつた。日赤奉仕団との事は長丁場になるので、話し合つていきたい。

質 若者への就職支援を

答 よい方法があれば提案を

前 沢 光 昭

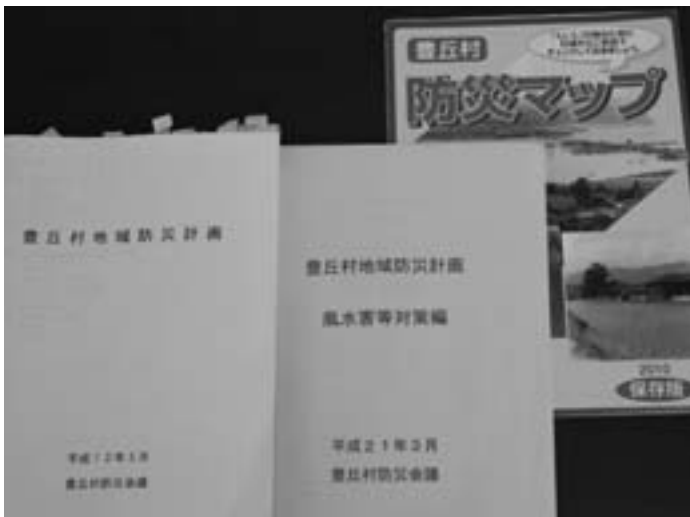
質問 若者の失業率は十%を超えたとの報道があつた。中途退学や中途退社の人にとつては相当困難だ。就職先が見つからなければ就職活動を続けることにも疲れ精神的にも追い込まれる。社会問題にもなっている。ハローワーク内に飯田市独自のジョブカフェ飯田がある。職業紹介から相談体制まである。豊丘でも親身な相談体制がとれないか。また広域事業の新規採用する会社への雇用奨励補助制度を中途採用にも拡充できないか。

村長 良い状況とは思っていない。原因は雇用不足から来る。行政にとつては社会的責任があるが村で何が出来るかとなると難しい。何か良い方法があつたら提案してほしい。

産建課長 雇用奨励補助制度に関しては今後の検討。相談体制などは村内企業、商工会に相談する中で必要とあれば豊丘に合う方法を今後検討していく必要がある。

原発問題と豊丘村防災計画

質問 原発の危険性に対する村長の認識は。豊丘村の防災計画に原発事故の際の対応を入れる



一度は見ましよう防災計画書

気はないか。県内の三つの市では想定している。(信毎報道)

村長 日本の原発については本当に危険で事故も想定しておらず、訓練もしていなかった。全くの人災。非常に危ないものだ。OECEDで菅総理は、二〇二〇年までに自然エネルギーへの転換を全体の二十%といったが幻想である。

総務課長 防災計画に原発事故対応の記事予定はない。

質 協働の村づくりの将来ビジョンは

答 新たなものをつくっていききたい

酒 井 浩 文

質問 国や県では多様な担い手が協働して問題解決にあたる社会イノベーションを推進し、民間の力を活かす仕組みづくりの拡大を図っている。豊丘村における協働の村づくりの特色ある支援策や仕組みづくりの、具体的な将来ビジョンはあるか。

村長 自らつくる地域づくり事業の創設により、協働の村づくりの意識は根付いてきたが、NPOの育成や活用はまだ根付いていない。今後も村づくり、人づくりを根幹に、住民と共に更なるコミュニティの推進を図る。

質問 役場庁舎への民間感覚導入が進められているが、住民生活への導入はどう進めるか。

村長 一つめは、その施策をやり遂げるために必要な組織づくりを行い導入していく。二つめは、施策の方向性と、それに向けた期限と達成度を決め、その進捗度を公開し先送りがないようにする。

健康施策成功のポイント

質問 生活習慣病および予備軍の増加を抑制するため、予防重視の観点から、健康づくりに取り組む住民への社会全体での支



地域の協働作業

援策が必要である。今後健康づくり計画を効果的に進め、成功させるためのポイントは何か。

住民課長 豊丘村は高血圧、糖尿病、高コレステロールが多く高齢者には関節の病気も多い。予防活動を重点的に進める。

村長 特に運動は効果が高い。文化的、スポーツ的なものも含め、住民が気軽に運動に触れられ、参加しやすい環境づくりに取り組む。

質 村が誇れる「何か」はありますか

答 皆で知恵を出し、考える活動が大事

松 下 亨

質問 村の各種の施策を企画したり実施するについて、住民の参加をいかに増やしていくかがきわめて重要。新村長として今後、いかにして行く考えか。

村長 自ら作る村づくり交付金事業で各区において計画立案し今年度から実施してもらっている。又、村政懇談会は、従来のように「区」単位にやるのではなく、自治会に向いてやりたい。

質問 豊丘村が、他の町村に誇れるものがないのが寂しい。全村民で知恵をしぼり、一体となつて取り組める「何か」について、アンケートなり公募委員会なりで検討し、全村民で取り組んだらどうか。

村長 指摘のように、これだけはいもう特色あるものはないと思う。今後、皆で知恵を出し合つて築ける活動ができればよい。

質 各自治会に保健委員を

委嘱したら

答 非常に具体的でよい提案だ

質問 健康は、幸せな生活をするための基であることは、いうまでもありません。今後の予防対策について、次のことを提案したい。

それは、各自治会に保健委員(仮称)を委嘱して、村の保健師と一緒に住民



開催方法が問われる村政懇談会

の保健活動に携わってもらったかどうか。任期は二年くらいで、交代してやってもらうことで、多くの皆さんが関わり、結果として、保健運動が広まると考えるが。

村長 非常に具体的でよい提案と思う。前向きな姿勢で議論したい。又、知恵を拝借したい。

質 特養の早期建設を

答 小規模なサテライト型で

唐 澤 啓 六

質問 村長は選挙公約で「急速に増加する要介護高齢者対策は最重要と位置づけ、小規模特養の建設を検討する」としている。

村長 特養の建設は、現在の入所待機者（飯伊で八百人、本村で二十五名）から考えて緊急の課題であり当然のことと考えるが、小規模特養は経営的に不利な条件となる。建設並びに運営の基本方針について伺う。

村長 定員三十人未満の地域密着型サービスの小規模特養を考えている。新たな組織を立ち上げ単体での経営は無理であるので、現在大規模な経営をしている経営母体との連携によることを考えている。

住民課長 経営母体となる本体施設が運営するサテライト型は、本体からおおむね二十分以内の範囲に設置することが可能である。経営母体は、特養や老健及び病院を経営する法人である。

原発から自然エネルギーへ

質問 福島第一原発の放射能事故は、全世界の人々に脅威を与えている。原子力発電からの撤退と、電力の自然エネルギーの本格的導入は重要な課題である。



複合福祉施設「プラムの里」

質問 東海地震震源域の真上に位置する浜岡原発は廃炉にすべきである。又、原発から再生可能な自然エネルギーへの戦略的な大転換が必要と考えるが。

村長 浜岡原発はあまりにも危険、ない方がいい。現在の日本の原発は耐震性もなく、安全性が大変未熟、安全な原子炉ができるまでは原子力に頼るべきではない。再生可能エネルギーからの電力供給に頼ることは困難であり、火力発電等で補うことが必要である。

質 職員給与等削減で国保会計へ繰入を

答 乱暴すぎて答えられない

吉 川 明 博

質問 村民の声の中に「一般職公務員と特別職公務員の給料が解らない、高い」とある、給料の削減について村長の見解は。

村長 人勸の削減について答申があればそれとし、当然それに職員も合わせていただけでしよう。

質問 五月の政府と公務員労働組合連絡会とで、国家公務員の給料を五%から十%減額で合意した。給料の引き下げを国家公務員に準じて給与削減を行った場合の豊丘村での試算値は。また、特別職の期末手当について、本年度予算の総額は。

総務課長 想定は二年六ヶ月分の試算値、総額では七百二十万二千円の減額。特別職の期末手当は合計六百五十九万三千円、総額二千四百八十六万六千円の減額。

質問 約五%から十%の減額を実施すれば、平成二十三年歳出予定の総務費の一般管理費の特別職給料、一般職給料、期末勤勉手当、管理職手当、共済費の総額一億九千二百六十八万円の十二・九%に当り、減税日本が主張する減税十%は他の歳出の削減も可能となる。



役場内の執務風景

答弁 この理論は、乱暴すぎて答えられない。総額二千四百八十六万六千円の減額をして、国民健康保険に法定外繰り入れをしたらどうか。

質 村長公約今後のスケジュールは

答 特養、福祉センター四年間に建設

片 桐 義 憲

質問 村長公約の今後のスケジュールについて、特に優先的課題についての計画執行の時期、期間を伺う。又「民間感覚で、スピード感ある行政運営及び行政はサービスの最たるもの。」との理念を掲げており、これらについても伺う。

村長 第五次の介護保険実施計画に特養新設を入れ、四年間に建設する。又、福祉センターについては、二十三、四

年度に計画、設計、二十五年

度に着工、完成させたい。もちろん財政的裏付けは充分に

考えているので補助対象事業

とすることが基本。又全村に

わたり金属製の燃やすゴミ収

納かごを全額村費で設置する。

企業誘致については、今、各

金融機関に何回もアプローチ

をして、内容等確認しながら、

誘致活動に取り組んでいる。又天竜川架橋については、北部地区に二ヶ所の計画がある中で、特に松川町長と腹をくくつての話が必要。県の中期計画に入る様努力する。時期を区切つての検討と、出来なかつた原因分析の中で動く事が民間感覚と考える。

質問 土砂災害特別警戒区域内の二百戸余の住民に周知を図ると共に、当面、村の人口増対策諸施策は、この区域内にあつても認可する事が必要と考へるが。

産建課長 周知を図る。住宅移転補償制度は、村の要綱策定が必要となつてくる。充分な審議を行つていただきたいと考へている。



喬木村の収納カゴ

質 架橋実現に、力を振り絞つた運動を

答 様々な角度から積極的に取り組む

松 村 正 三

質問 自らが所属する委員会の所管掌握すべき事柄ではあるが、ここで、あえて質問し、村長の考へ方を伺いたい。

天竜川架橋の早期実現は、長年にわたる懸案事項であり、期成同盟会を中心として、国や県への要望活動を時を見ては重ねて来られたが、未だ実現に至つていない。

然し、昨年の期成同盟会の総会の席で、県は二十三年度中にはその方向づけ結論づけを行いたい旨の報告があつた。

今まさに正念場、物事を成すには大事な時期というものがあると考へる。

時すでに六月、県の方向づけ

結論づけがなされようとしているとも考へられるとき、今までの要望活動を

集約した形で、期成同盟会、そして三

町村民あげての要望運動を今ここで、

力を振り絞つて展開すべきと思うが、

村長の考へはいかがか。

村長 言われる通りだと思ふ。七月には新たに交通量調査が行われるので、見計らつて高森、喬木の両首長とともに飯田建設事務所へ出向きお願いをしてまいりたい。



架橋実現今まさに正念場（北小屋上より対岸を望む）

先ずはそこからスタートを始めたいと思つている。

言われるようなことをしっかりとや

ていかなくはないかと思ふし、そ

れだけではいけないと思つている。

水面下での動き、違う形での進め方、

様々な角度からしっかりと考へて、積極的に取り組んでいきたいと思つて

最近の議員活動から

【高齢者福祉を考える】

宮田村「プラムの里」視察

四月に行われ

た村議選の公報

で、高齢者の福

祉医療介護等に

関する所信表明

した議員に対し、

片桐秀人議員の

呼びかけで高齢

者福祉について、

『想いを語る会』

が去る五月二十

日開催された。

片桐(秀)議員・

唐沢議員・川野

議員・片桐(眞) 議員・前沢議員・大原議員・井原

姿勢が伺えた。

今後更に高齢者福祉に関する

勉強や研究を重ねて行く事が必

要であると改めて確認を行い次

回の活動内容として、近くの施

設を視察に行くことに決めて第

一回目の意見交換が終了した。

その後、視察計画をしていた宮

田村にある「複合福祉施設プラ

ムの里」に依頼確認したところ、

同施設を視察出来る事となり多

くの議員に呼びかけし、六月六

日、ほぼ全議員が参加して現地

視察が実施された。また施設訪

問にあたり、村長の所信表明を

受けて、村長の所信表明を

受け庁内でも特養の建設検討が

始まっており、村から下平村

長・住民課から稲葉課長・介護

保険から林係長が参加し、議会

事務局の武田事務局長の運転す

るマイクロバスで視察を実施し

た。

車中では林係長から「地域密

着型サービス・小規模特養」に

ついての概略説明を受けながら

先に宮田村役場へ立ち寄り、訪

問の挨拶を行い、宮田村役場福

祉課の小田切課長から施設につ

いて説明を受けた。その後、複

合福祉施設プラムの里へ移動を

行い同施設の菅沼顧問・西村施

設長から歓迎の挨拶があり、施

設の運営内容などの説明を受け、

続いて施設内の巡回説明をうけ

た。

多くの詳細説明の中で、特に

「取り組み方向と目的」をしつ

かり持つ事が重要であり、更に

「村と施設の関わり」・「場所と

地域の気持」・「利用者の想いと

工事業者」・「予算と補助」・「雇

用と運営」・「施設内容と費用」・

「地方公共団体や施設との連携」

などの関連内容を十分検討を行

い、課題の認識やサービス提供

実施体制確保などの見込みを立

てる事が重要であること指導を

頂きました。下平村長以下それ

ぞれの議員から何点かの質問が

出るなど、今後、豊丘村が取り

組むべき姿勢や方向について大

変参考になる意義のある現地視

察であった。一連の案内及び説

明後、宮田村観光ホテルを紹介

して頂き、昼食をとった。食事

の案内も村につながっている施

設を紹介する等、宮田村のPR

精神が含まれていて改めて感心

した。帰りの車中では各自思い



思いの感想を語りあい、関心度の高さが伺えるなど現地視察の重要性も改めて学習出来た一日だった。

シリーズ「私、がんばっています」

壬生沢 壬生まゆゆさん

豊丘村には元気な女性が多い。特に最近では豊丘の若いお母さんたちの活躍が目立っている。そんなお母さんと子どもたちの笑い声が響く福祉センター隣のクラブハウスに、壬生まゆゆさんを尋ねた。

壬生さんは両親が転勤族で、飯田市で生まれ育った。共働きで多忙な両親に代わり、祖母と保育園で育てられたという。

伊那市の高校を卒業後、諏訪市の専門学校で介護や保育を学び、卒業後豊丘村の「はやしのか」就職を機に豊丘村での生活



私の一言

最近私は、元気に身体を動かせることを「ありがたいな」と思うようになりました。毎日の日課である新聞のおみやみやみ欄のチェックで自分に関係のある人や、若い年齢の方が亡くなっていると、仕事柄か、どうしても亡くなつたんだらう、病名は等と色々想像してしまいます。

ジャーなど、村の若いママさんの代表的な人物、まさに「スーパーウーマン」でもある。

豊丘村の印象について、初めて来た時は立派な役場にびっくりした。アットホームで面倒見の良い村の皆さん、自然豊かな環境が大好き。人と人とのつながりの大切さを感じられる村。素敵な女性がたくさんいる村、と語る。

今、こうした若いお母さんたちが自らの才能や経験を生かして様々な村づくりの場面で活躍している。特に壬生さんのよう

若い時と同じ様な偏った食事や不規則な生活、無理なことが続けば、どんな人でも年をとってくると残念ながら体のどこかが悪くなってきました。

孝 志

悪くなってきました。血圧が高くなってきた、血糖が高い、腰が痛い、身体がだるい、おしっこが近いなどなど。この体の変化に気づかないで過ごしているというのまにか大病につながるということが多いようです。

最近思うこと

そんなことにならない様に

自分の体がどんな状態なのか知ることが大切です。その手段はやはり、ヘルスクリーニングや人間ドックなどの健康診断を受けることです。

病 院

病院にかかると抵抗がある人も多いと思いますが、今は病気と共存していくことは当たり前です。(私もアルコールという魔法の水が人より少し好きなことで内服しています)どこも悪くない超優等生はほんの一握りです。病気と上手に付き合いながら美味しくものを食べて飲んで楽しく暮らしていきたいものです。



右から2人目が壬生さん

な、豊丘村を外と内から見ると、豊丘村を外と内から見る目を持つお母さんたちの、豊かな発想や行動力には驚かされる。これからもっと多くの場面で、多彩なお母さんパワーを発揮し村の活性化の一翼を担ってほしい。

村での生活について、楽しいことや子どもが大好き、特に最近ではスポーツクラブで子どもたちの輝く姿を見るのが一番の喜び、たくさんの出合いに恵まれ、刺激をもらい生活の活力になっている。夜の竜東一貫道はランニングに最高、日課の六キロ走

でも働くママさんランナーでいたい、恋は死ぬまでして欲しいです、とさわやかな笑顔で語った。

編集後記

▼六月定例会が六月一日に開会され熱心な議論の末、開会した。特に国民健康保険税については、慎重に審議しました。一般質問では、新人議員も健闘した。

▼空席になつている副村長も議会、だよりが皆様のお手元に届く頃には、決まっていることと思ひます。村の舵取りのナンバー二に期待しています。舵の方向を間違えないように、議会も見守ります。前奥山副村長には長年、お疲れ様でした。

▼東日本大災害の方々のご苦労をお察しする中、松本を震源地とする地震が起き東北の余波が少しずつ伊那谷にも迫ってきているのか、東海地震も心配になりますので万全な準備をしたいものです。

▼梅雨の最中から三十度を越える日があり、今年の夏も異常に暑くなりそうです。節電と暑さ対策に心掛けながらも、熱中症に気をつけ夏を乗り切りたいものです。

▼役場南の窓のゴーヤのつるも大きくなってきました、グリーンカーテンが楽しみです。